



N.S. ニュース速報A

**NSDAP/AO : PO Box 6414
Lincoln NE 68506 USA
www.nsdapao.org**

#1137

29.12.2024 (135)

悪の天才の教育

ゲルハルト・ラウク著

パート3

私はどの惑星にいるのか？

1960年代に世界が狂い始めたとき、私はひとつの単純な疑問を自分に投げかけた：私はどこの惑星にいるのだろうか？

友人や家族を含め、当時は多くの人が同じことをしていた。

私は主流の政党や従来のアプローチを信用していなかった。答えを求めて、私はさまざまな文献を読み始めた。嫌いなものもあった。好きなものもあった。まだ中学生だった私は、自分の求める答えを見つけた。それから数年のうちに、何人かの近親者も改宗させた。それを「新しい信仰」と呼ぶのはためられる。というのも、私たちは何年も同じ基本的な考えを、知らず知らずのうちに信じていたからだ。少なくとも名前では。それは従来の意味での「宗教」でも「イデオロギー」でもなかった。それは「世界観」だった。

この“改心”や“悟り”のプロセスは、すでに他の人々によって説明されている。首脳陣も下っ端もだ。わざわざもう一度説明する必要はないだろう。基本的に、私は管理者であり、組織者であり、分析者であり、戦略家である。作家でも、理論家でも、イデオロギー論者でもない。

それにもかかわらず、私はジョージやマークと、基本的な政治哲学を選択する際の「健全な本能」と「優れた理性」の相対的なメリットについて議論したことを覚えている。私の結論はこうだ：どちらも良い。しかし、両方の組み合わせがベストだ。

マークは私たちの新聞の名前「*NS Kampfruf*」を決めるのを手伝ってくれた。彼はヒトラーと同じ刑務所に数週間いたことを誇りに思っていた！彼はNSDAP/AOのステッカーを貼って逮捕されたのだ。

父と恩師 "FW"

1940年代、父は工学の学位を取得して大学を卒業した。すぐに大手製造会社に雇われた。やがて父はさらに学位を取得した。

戦争中、彼はとても長い時間働いていた。母さんはほとんど会えなかったって言ってた。でも、少し大げさだったかもしれない。父は、おじいちゃんがおばあちゃんに、冷蔵庫を買ってアイスボックスがなくなってから、どうして赤ちゃんが産まれなくなったのかと聞いたことがあると冗談を言っていた。

1950年代、会社は彼を長期研究部長に昇格させた。私は子供の頃、彼の工場を訪れたことを覚えている。私の第一印象はこうだった：パパには美しい秘書がいる。ママはこのことを知っているかしら？

彼は自分が開発に携わった新製品のひとつを見せてくれた。その製品は今でも広く使われている。その製品を目にするたびに、私は父のことを思い出す。

父は会社にとって非常に貴重な存在であることを証明し、会社は父のスキルアップに投資することを決めた。全米でもトップクラスの数学者を雇い、一対一で個人指導をしたのだ。数学の正式な学位は持っていなかったが、彼の知識は最終的に数学の博士号と同等にまで高まった。

数年後、高校の数学の教師が私たちに、親がどれだけ数学を知っているか尋ねるように言った。良きにつけ悪きにつけ、私はこれを揶揄していると受け取った。そこで私は父に徹底的に聞いてみた。父は勉強したことのある数学を20種類以上挙げた。数学の先生はそのうちのいくつかは聞いたことすらなかった！

1960年代、FWは教職に就くことを決意した。彼は、国内の工学部学生の質が低下していることに危機感を覚えたという。そこで彼は州立大学の工学部教授になった。

もちろん、これは大幅な減俸を意味する。しかし、彼は気にしていないようだった。

私たちが“都会”のはずれにある新しい家に引っ越したとき、私はショックを受け、失望した。私たちの新しい家は、以前住んでいた田舎の屋敷に比べるととても質素だった。しかし、私は何も言わなかった。

FWは非常に特別なコースを作り、教えていた。学生たちに工業工学の実践的な経験を積ませるためのものだった。

この地域の小規模な製造会社を訪問したとき、彼は彼らに断れない申し出をした。「私の学生たちに、御社のエンジニアリングの問題を解決してみてください。もし失敗したら、学期末に私が出向いて無料で問題を解決します」。

そして、それこそが彼のしたことだった！

その結果、多くのビジネスマンが満足した。大学に賞賛の手紙を送った人もいた。また、何年か経った後でも、かつての学生たちから感謝の手紙が届いた。そのうちの1人は、他のすべてのコースを合わせたよりも、このコース1つで多くを学んだと書いていた。

これはまた、これらの企業の一般的な性質についての洞察も与えてくれた。

通常、このような企業はたった2人でスタートする。一人はテクノロジーに長けている。もう一人はビジネスに長けている。会社が成長するにつれ、やがて外部の助けが必要になる。

当時は、父がエンジニアリングの手助けをしてくれた。それから何年も経ってから、私がビジネスの手助けをするようになった。

彼はまた、別の見解も示した：

エンジニアとビジネスマンは意思疎通が難しい。彼らは異なる言語を話す。また、優秀なエンジニアの学生も、文章を書いたり人前で話したりす

るのは苦手だ。

数年後、私はコンピューター技術者やビジネスマンがしばしば同じ問題を抱えていることに気づいた。

そこで彼は、人前で話す技術を高める トーストマスターズというグループに参加するよう生徒たちに勧めた。彼自身もそこに参加した。

FWは非常にタフだが、フェアでもあるという評判だった。

例えば、こうだ：彼の生徒たちは、*社会保障番号*だけで書類を識別するよう指導された。名前ではない。彼は採点中に生徒の身元を知りたくなかったのだ。後になって、成績を掲示するときに初めて彼はそのことを知った。これは、意図的でなくとも無意識のうちにバイアスがかかるのを防ぐための彼の方法だった。

彼の教え子たちは、毎週行われる10問のクイズについてこう言っていた：

もしあなたが優秀な学生なら、最初の3つの質問に答えることができる。もしあなたが天才なら、次の3問はわかるだろう。しかし、最後の4つの答えは、神とFW教授だけが知っている！

彼が「最後の4つ」のうちの1つを教えてくれたとき、私はすぐにその答えがわかった。私は父と違って、メカニックやテクノロジーに対する姿勢はない。しかし、父の分析力と問題解決のコツは受け継いだ。分野は違えど、私たちはよく似たことを考えていた。FWはよく、私たちは*同じ原理を異なる分野に応用している*と言っていた。ただ、呼び名が違うだけだ。

最高の生徒には愛され、最悪の生徒には嫌われた。

彼の教え子のひとは、工学に関しては文字通り天才だった。父は彼をマンツーマンで指導した。無料で。父は微笑みながら私に言った：*彼に教えるのは楽しかった。彼はスポンジのように知識を吸収した。彼は1週間で平均的な生徒が半年で学ぶ以上のことを学んだ。*

FWは後に教職を辞し、エンジニアリング・コンサルティング会社を立ち上げた。私はその会社で立派な肩書きを得たが、実際にはただの数字上の人物だった。

それから数年後、FWはさらに多くの州でエンジニアのライセンスを取得した。彼がニューヨーク州の技術者試験を受けたとき、彼らは彼がアメリカ市民であることを証明するために出生証明書を見せろと要求した。彼のスコアは非常に高く、彼らは彼がアメリカで教育を受けたとは信じられなかった！

自動車

父はいつも5台以上の車を持っていた。大きな古いビュイックを買っては修理し、何か大きな故障が出るまで乗っていた。エンジンとかトランスミッションとかね。そして、パーツのためにそれらを共食いさせた。あまりに徹底していたから、廃品回収業者から金を払ってレッカー移動させろと言われることもあった。その逆はない。

あるとき、彼は保険会社から95ドルを受け取った。車の値段はたったの100ドルだった！

私は一番若く、技術も低かったので、退屈な仕事を任された。タイヤを回したり、スパークプラグを叩いたり。あるいは、ただ退屈そうに座って工具を渡すだけだった。それが、私がメカニックに興味を持てなかった理由のひとつかもしれない。

ある時、近所のヤギが手伝いに来た。しかしヤギには下心があった。ヤギはタバコが好きだった。ヤギは父のポケットからタバコ袋を盗み出そうとした。

一度家に帰ると、裏口の横に長い木の棒があった。姉はヤギよけに必要だと説明した。姉が洗濯物を干すために外に出ると、ヤギが姉に突っかかりろうとした！

ある時、私は四つん這いになり、ヤギと頭をぶつけた。そして私は顔を上げた。ヤギと私はしばらく見つめ合った。するとヤギは振り返って走り去った。今でも、私の頭が固かったのか、私の顔がそうさせたのかはわからない。

10代の頃は自分の車を持っていなかった。必要なかったんだ。

私の人生で借りた車のほとんどは1970年代に製造されたものだ。一番安いもので500ドル。一番高いのは1,500ドルだった。今まで買った中で「最悪」の車は700ドルで、3年しか持たなかった。高校生のものであった。彼の両親が卒業祝いに新車を買ってくれたのだ。お気に入りの2台は、どちらも1975年式のビュイック・エレクトラ・リミテッドだった。1台は895ドルで、10年乗った。友人はこう言った：これは自動車じゃない。空母だよ！

私の最も面白い車の買い方はこうだった。義父と私は一緒に行き、妻は

家にいた。私たちは3ヶ国語で個人オーナーと購入の交渉をした。家に戻ると、妻の唯一の質問はこうだった：車の色は何色？わずか1時間前に購入した車の色を、私たち二人とも覚えていなかったのだ！妻は緊張していた。しかし、車を見た妻は大喜びだった。

職場の同僚も奥さんと同じような経験をした。どんな車が欲しいかと尋ねると、彼女は「青」と答えた！

それから数年間、彼女はその1975年製ビュイック・リーガルと10回ほど軽い事故を起こした。同じ日に2回！回目は、警察署の前でパトカーとバンパーをぶつけた。私は激怒して、彼女を助けに行くことを拒否した。代わりに彼女の父親が行った。

私は10代の監督だった...

狼男ではない

私は学費と書籍代を稼ぐため、毎年夏に工場で働いていた。まだ10代だった私は下っ端の監督職に昇進し、7人のクルーを部下に持った。私はその中で最年少だった。

どうやって昇進したんだろう？

これがそのストーリーだ。

工場は新製品を発売したばかりだった。当初、生産はさまざまな部署に分散していた。それらの各部門は、新製品を自分たちの本来の仕事から逸脱したものと見なす傾向があった。自分たちに割り当てられた部分は脇に追いやられた。

この工場での勤務は3回目だった。以前の上司に報告すると、彼は私を工場の別の場所に案内した。そこは彼の部署からは遠く、見ることもできなかった！私はそこですでに部品を組み立てていた2人の作業員と一緒にになった。

個人的なことではなかった。それにもかかわらず、私は追放された。あの忌まわしい新製品の仕事に配属されたのだ。目の届かないところで。

彼はめったに私たちをチェックしなかった。私たちが、部品が足りなくなって仕事が止まってしまったので、もっと部品が欲しいと懇願したとき

できえも！

ある日、工場での作業に不慣れな若いエンジニアが、私たちを助けてくれると言ってくれた。彼は倉庫に行き、いくつかの部品を持ってきた。誰にも言わずに、事務処理もせずに。

だから私たちは将来も彼を頼った。結局、フロントの誰かが彼のやっていたことを知った。彼は玉砕した。

特にフロントオフィスのマネージャーが通りかかり、私に質問してきた。私はできる限り答えた。こんなことが何度かあった。

私が入社してわずか数週間後、彼は私のところに歩いてきて、私が昇進したと言った。この辺りで何が起きているのか知っているのは君だけだ！

これには驚いた。当然、嬉しかった。

まもなく、その製品の生産は1つのエリアに集約された。約30人の上に、より上位の監督者が任命された。軍事用語で言えば、彼は小隊を指揮する中尉に相当し、私は分隊を率いる軍曹だった。

しかし、まだひとつ小さな問題があった。

製品は機能しなかった！不合格率は約50%だった！

誰もその理由がわからなかった。絶望の淵に立たされたとき、同じフロントのマネージャーが私に尋ねた。

私は観察し、ある仮説を提案した。彼はそれをチェックするために必要な機材を誰かに持ってこさせた。(私はその使い方を知らなかったが、彼は知っていた) 謎は解けた。不合格率は激減した。明らかに、私たちは問題の少なくとも一部を解決したのだ。

しかし、それでも不合格率は高すぎた。マネージャーと私はこの問題について数分間話し合った。そして私は別の理論を思いついた。彼はそれが理にかなっていると考え、私たちはそれをチェックすべきだと考えていた。

彼はさらに精巧な機器を持って来て、今回はその使い方を知っている大学で訓練を受けた技術者を連れて来なければならなかった。私の疑念は確信に変わった！

技術者や一人前のエンジニアできえ、何週間もこの問題に血の汗を流していた。そして、私は数分で解決策を見つけた。

当時、私はこれを常識と幸運の組み合わせだと考えていた。それ以上の

ことがあるとは、その時は思いもしなかった。

それ以来、その技術者と彼の装置は生産ラインに不可欠なものとなった。彼は組み立ての前に必ず「問題児」の部品に目に見えない欠陥がないかをチェックした。その結果、不良品率は許容範囲内まで低下した。

質問 *技術的な訓練を受けていない19歳の子供が、誰も解明できなかった技術的な問題をどうやって解決したのでしょうか？*

答え *観察、分析、そして昔ながらの常識！*

この工場は、天才的な発明家だった男によって設立された。彼は高校在学中に実家のガレージで起業した！

彼の天才的な発明に匹敵するのは、フロントにいる彼の親族の愚かさだけだ、と別の従業員はコメントした。

残念なことに、新製品を製造するために工場を拡張した際、彼は無理をしてしまった。その製品が技術の進歩によって突然時代遅れになったとき、会社は倒産した。工場は閉鎖された。従業員は解雇された。地元の人々は彼を罵った。そして彼は州外に引っ越した。

そのとき、私はすでに他のことに夢中になっていた。

書き始める

まだ10代の頃、私の最初の記事は（高校の出版物に掲載された詩は別として）非営利団体の出版物に掲載され始めた。

最初は、アメリカとヨーロッパの定期刊行物を購読していた。*The Voice of the Federation*、『*Der Deutsch-Amerikaner*』、『*Nation Europa*』、『*Mut Magazine*』、『*Deutsche Nachrichten*』、『*Deutsche Wochenzeitung*』、『*Deutsche National- und Soldatenzeitung*』などだ。

しかし、すぐに編集者に手紙を出すようになり、後には記事も書くようになった。

若手作家のための作文コンテストに応募したエッセイが準決勝に残った。他の準決勝進出者とともに、主催雑誌『*Nation Europa*』に掲載された。

この雑誌は非常に「高尚」だった。多くの著名人の記事が掲載されていた。どうやら私はそれなりの限界で注目されていたようで、何人かの人た

ちから手紙や訪問の招待状を受け取った。その中には、引退した政府高官や学者、高名な軍人からのものもあった。

まだ10代の頃、私はヨーロッパで開催される国際会議に招かれ、そこで講演した。素晴らしい時間を過ごし、多くの魅力的な人々に出会った。



NS KAMPFRUF
KAMPFSCHEFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN
ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION

November 1944 Gründung 1973 26. April 2017 (100)

Der Kampf geht weiter !

Kuhing Ideen nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung wieder als zu jenen in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!
Menschen von Wissenschaft, Vererbung, Verfügung und Veränderung haben nicht umsonst, das Kern der gesamten Idee unseres hoch gelobten Führers Adolf Hitler zu entwickeln.

Alle Nationalsozialisten sind weniger
erfahrene Soldaten und Kampfgewinn-
erfahren Soldaten an Schicksal an Kampf um
die Erhaltung unserer weißen Völker.
Die Bewegung ist zwar wieder ge-
worden, aber die Größe des hochgelobten
Führers ist heute noch nicht gleich als in
der Vergangenheit.

Ein unverwundliches Gegenstand ist allen Arbeit-
den Völkern - gegen alle weißen
Völker (1) zu kämpfen. Seine Mittel sind
Erziehung, Überlebensfähigkeit und Re-
sistenzbewusstsein.

Ob "legal" oder "illegal", ob im
Wahlkampf oder im Brautkampf, ob
mit Propagandaarbeit, bewacht oder
auf einem Schiffsfeld anderer Art. Jeder
Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitl Hitler!
Gottard Lauth



**TROTZ
VERBOT
NICHT
TOT!**



N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー

第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したもので
すね。

このような話題が政治に与える影響
について、あなたの考えをお聞かせ
ください。

モリーです。フォトギャラリーの更
新は続けていますが、主にAdolf Hitler
and the Army of Mankind
(www.mourningtheancient.com/
truth.htm)に集中して取り組んでいま
す。現在21ページですが、まだまだ
やることがたくさんあります。第
二次世界大戦の勃発は、まさに情弊の
地獄絵図です。1つのことについて情
報を探しても、さらに2つほど調べ
たいことが出てくる。まるで、埋も



the **NEW ORDER**

Number 176 (197) Founded 1973 April 26, 2022 (173)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware Europeans and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture distortion, and re-education.

Whether "legal" or "illegal", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind every National Socialist must do his duty!

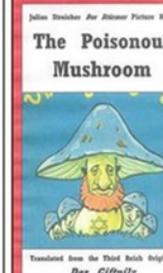
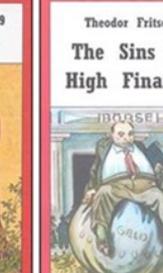
Hitl Hitler!
Gottard Lauth



**TROTZ
VERBOT
NICHT
TOT!**

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト

<p>SS Defender against Bolshevism by Reichsführer SS Heinrich Himmler</p>  <p>FOR DANMARK! MOD BOLCHEVISMEN!</p> <p>Translated from the SS Original</p>	<p>Julius Streicher über Himmler Führer Buch</p> <p>The Poisonous Mushroom</p>  <p>Translated from the Third Reich Original Der Giftpilz</p>	<p>Reinhold Beckmann</p> <p>Hitler in Italy</p>  <p>HITLER in ITALIEN</p> <p>English / German Deutsch / English</p>	<p>SS Viewpoint - Vol. 9 Wife and Family</p> 	<p>Theodor Fritsch</p> <p>The Sins of High Finance</p> 	<p>Luftwaffe War Art Die Luftwaffe im Bild</p>  <p>English - German / Deutsch - English</p>
--	---	---	--	--	--

BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org
Contact us to
find out how
YOU can help!